

## 教科シラバス（地理・歴史科）

科目名	学年	使用教材	【教科書】
日本史B	3年		『詳説日本史B』（山川出版社）
単位数（文4・理4）選択			【副教材】 『新詳日本史』（浜島書店） 『4ステージ演習ノート日本史B』（数研出版）予定 『詳録 新日本史史料集成』（第一学習社）予定

### 【学習目標】

- 我が国の歴史の展開を、史料や資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
- 我が国の伝統と文化の特色について認識を深め、歴史的思考力を培う。
- 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 【学習方法】

- 教科書・ノートプリント・図説・史料集を用いて授業を展開します。授業に集中し、しっかりノートをとること。また、プリント等を併用しますので、ノートや綴じることのできるファイルを用意すること。
- 歴史用語の一つ一つにこだわらず、事象の因果関係や大きな流れをつかむことを優先して授業を整理するように心掛けること。
- 日頃から授業の復習を中心に教科書の精読に取り組み、知識の定着を図る。定期考査や模擬試験の復習についても、復習を充実させることを心がける。

### 【学習評価】

次の4観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までの学習範囲）ごとに下の評価項目により学期毎に評価（評価点）を行い、年間総合の評価は5段階の評定で総括します。						
① 関心・意欲・態度	我が国の歴史の展開に関する関心と問題意識を高め、意欲的に追究し、グローバル化の進む国際社会の中で、主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。					
② 思考・判断	我が国の歴史の展開から、各時代に特有の課題や現代社会と共通する課題を見だし、国際環境とも関連付けて多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。					
③ 技能・表現	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。					
④ 知識・理解	我が国の歴史の展開に関する基本的な事柄を、各時代の国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。					
評価方法／観点	①	②	③	④		※考査8割、平常点2割を基準として、授業態度や出席状況を加味して評価する。 ※提出物には期限を設け、期限を守れるか否かも評価する。
各考査の成績		◎	◎	◎	定期考査・実力考査・課題考査など	
授業態度・出席状況など	◎	◎				
各提出物	○	◎	◎	○		

### 【年間学習計画】

月	学習内容（単元）	学習のねらい	学習活動（評価方法）
4			
5	第1章 日本文化のあけぼの	・旧石器文化～古墳文化について、大陸との交渉や社会的変化などについて学習する。	提出課題（プリント、ノート等）
	第2章 律令国家の形成	・隋・唐の影響を受けながら律令体制が確立し、文化が発展する過程などを学習する。	
6	3章 貴族政治と国風文化	・摂関政治の確立と律令体制が大きく変化し、文化の国風化が進むことを学習する。	授業態度・出席状況
	第4章 中世社会の成立	・院政期以降の中世社会の成立と鎌倉幕府の展開について学習する。	授業態度・出席状況 期末考査
7	第5章 武家社会の成長	・南北朝の動乱と室町幕府の盛衰を中心に、経済発展による庶民の台頭など、社会構造の大きな変化について学習する。	授業態度・出席状況
9	第6章 幕藩体制の確立	・織豊政権の盛衰と江戸幕府の成立過程を通じて、その内政・外交の特徴を学習する。	授業態度・出席状況 校内模試
10	第7章 幕藩体制の展開	・文治政治への転換による幕政の安定と、経済発展による特に豪商を中心とした庶民の成長による社会の変化について学習する。	授業態度・出席状況 中間考査
11	第8章 幕藩体制の動揺	・貨幣経済の進展や飢饉の発生による幕藩体制や社会の動揺と幕府・諸藩の諸改革について学習する。	授業態度・出席状況 学年末考査
12	問題演習	大学入学共通テスト・私大対策	
1	問題演習	大学入学共通テスト・私大対策 国公立大個別試験、私立大学入試対策	
2	問題演習	国公立大個別試験、私立大学入試対策	
3			

### <定期考査対策について>

- 教科書をしっかり読み込み、知識の定着と歴史事象の因果関係の流れを理解すること。
- 時代ごとの特徴を把握するため、他の時代と比較してその差異を把握することに留意する。
- 歴史の法則性や政治・経済・文化・外交など社会因果関係の関連性の理解を深める。
- 授業中の解説については、しっかりと記録をとること。
- 毎日の授業後に復習を行うこと。

### <対外模試対策について>

- まずは日々の授業を大事にすること。
- 教科書、問題集を中心に何度も繰り返し復習を繰り返し、その理解に努める。
- 素朴な疑問を大切にして、小さなことでも質問をすることを心がける。